

令和元年度第1回第6次碧南市総合計画第2分科会

議事要旨

日時	令和元年11月28日(木) 午後1時30分～午後3時10分	
場所	碧南市役所 2階 談話室3	
出席者 ■出席 □欠席	審議会 委員	<input type="checkbox"/> 河原委員 <input type="checkbox"/> 鈴木たか子委員 <input type="checkbox"/> 禰宜田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長田和久委員 <input type="checkbox"/> 水野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 奥村委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長田良次委員 <input checked="" type="checkbox"/> 榊原健委員 <input checked="" type="checkbox"/> 金原委員 <input checked="" type="checkbox"/> 中根委員 <input checked="" type="checkbox"/> 榊原由太郎委員 <input checked="" type="checkbox"/> 杉浦委員
	事務局	生田経営企画課長、中川経営企画課長補佐兼政策推進係長、小林主査、鈴木主事
傍聴者	0名	
次第	1 経営企画課長あいさつ 2 自己紹介 3 第6次碧南市総合計画の進捗状況について 4 意見交換 5 今後のスケジュール(予定)	
1 経営企画課長あいさつ	○経営企画課長よりあいさつ	
2 自己紹介	○各委員から名簿順により自己紹介	
3 第6次碧南市総合計画の進捗状況について	○事務局から資料説明	
意見交換		
委員	<p>○防災で大事なものは、リーダーシップの問題である。災害時の医療は防災医療コーディネーターの指示で動くが、市民病院は防災担当病院になっていないし、医師会も高齢化しているため、災害時に碧南市の医療が動けるかというところがかなり厳しく、ここも真面目に考える必要がある。</p> <p>○各地区で防災リーダーのような旗振りする人が必要。自助は当然なので災害時にそれぞれがどこに逃げるのか事前に計画しておく必要があるのではないかと。市民それぞれが災害時にどう動くか考えておける仕組みが必要。</p> <p>○子どもの教育について、成績の悪い子は勉強の仕方が分からないからテストの点数が取れず、そこから曲がっていく。学校は平等でしかできないのであれば元教師や学生のボランティアが勉強のやり方を学校外で教える仕組みがあるといい。</p> <p>○碧南市といえばなんだと子どもがすぐに言える共通のものが欲しい。そしてそれを授業で学ばせ、愛着が湧いてもらえるように自分たちの地元碧南を刷り込む必要がある。</p>	

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが減少しているため、地元の人が地元で結婚してくれるのを願うが、最近の学校では、林間学校の肝試しで男女のグループで行かなくなったり、フォークダンスでは男女交互でなくなってしまった。昔は小学校で自然とこういう社会を学べたが変に厳しくしてしまっていないか。異性と付き合ったことのない人の割合もどんどん増えており、教育の場でこういった機会がないと人間ができていかないのではないか。 ○発達障害と認定される子どもが非常に増えてきているが、この認定自体が過剰に認定していないか。そのため、養護学校はどこも込み合ってるし、小学校保育園で加配の先生をつけなくてはならない。ただ、本当に発達障害の子どもたちへの支援もどのように手厚くやっていくかは気になる。 ○共働きが非常に増えており、今後もこの傾向は進むと思うが、碧南市の保育園は1歳2歳の入所条件が厳しい。条件にあう職場はなかなか少ないと思う。この辺の仕組みも考えてもらいたい。 ○食物アレルギーの児童が増えてきており、給食の支援の仕方も気になる。時代により子どもを取り巻く環境が変化してきている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○電柱に海拔の赤い線があるとよい、またはより分かりやすいものがほしい。今は土地の高さが何メートルという表示があるが分かりにくい。 ○外国人との共生がこれからも進むため、外国語表記、例えば最低でも英語表記など、いろんな場面で必要である。 ○文化やスポーツの情報を興味のある人以外にももっと届けてほしい。ITを使ったプッシュ型の情報提供を考えてほしい。広報を配っているだけでなく、時代に合わせた情報提供の仕方を研究してほしい。 ○碧南市に公園はあるが、作ったという公園のようで行きたくなる公園になっていないのではないか。老若男女が楽しめる空間になってほしい。木もあるベンチもある、でも木陰になっていないので暑いときには座る気になれない。 ○土地はないかもしれないが、企業誘致を活発にしてほしい。 ○素晴らしい施設は多いためもっと施設を活用し、子育て世代の方が住む場所として選ぶ物差しになるとよい。 ○エドモンズでは学校現場で保護者がアシスタントとして入る制度がある。お金をかけずに保護者や地元の人がもっと入ってもらえるような体制を考え、先生たちの支援をしてほしい。

委員	<p>○防災は常に気になっており、碧南市は橋が壊れたら陸の孤島となってしまうため、施設の老朽化には気を配ってほしい。</p> <p>○少子高齢社会を外国人やロボで解決できるものでもないと思う。自然増を増やす必要があるが20代30代の転出が多い。例えば買い物は市内ではなく、名古屋・刈谷・岡崎へ行ってしまうように、それらの対策を考えてほしい。</p> <p>○70歳代でもバリバリの人はたくさんいる。人口増が期待できないのであれば、高齢者たちが培ってきた分野で働ける環境を整えてほしい。</p> <p>○スポーツ関係団体がバラバラにやっているため、統一するように動いている。うまく組織を作り直して、誰でも好きに運動ができるようになれば心も体もリフレッシュでき、前向きになれる。健康になるから病気の問題もある程度なくなると思う。</p> <p>○スポーツの分野ではこのように頑張るので、それらの活動をバックアップしてもらいたい。同時に各部署でいかに健康寿命を延ばせるか検討してもらいたい。</p> <p>○総合計画の冊子が完成する前に事前に見せてほしい。</p>
委員	<p>○碧南市の環境や地の利は変わることはなく、人口も減少する。となるとやはり重点を置くとすると子育てである。高齢者ばかりになっていくが、高齢者施策は適度に行い、未来を担う子育て分野に力を使ってほしい。</p> <p>○碧南市は特徴的な文化施設がたくさんあるので維持し、充実を図ってほしい。</p> <p>○区民館の利用が活発になっている中で公民館機能が果たして必要か検討してほしい。</p> <p>○多文化共生には地域のことも含めて企業と一緒に支援できるような仕組みを考えてもらいたい。</p>
委員	<p>○翻訳機やアシスタントの配備といった学校におけるの外国人の対応はかなり力を入れていただきありがたい。碧南市の特徴であり強みと思う。</p> <p>○先生が不足しているが、高い質は必要である。研修ということだけではなく、現場がいきいきと働けるような取り組みをしてほしい。</p> <p>○学校のトイレに洋式トイレがほとんどない。令和の世の中これでいいのか。</p> <p>○きれいなまちづくりや歩いて暮らせるまちづくりという面で歩道を充実するような環境美化予算があるとよい。</p>
委員	<p>○交通弱者への施策、バス・電車に関して政策的に考えてほしい。複線化期成同盟会があるそうだが、私が子どものころから何も変わっていない。</p> <p>○棚尾物語というDVDを作って歴史史実を見てもらえるようになってよかった。</p> <p>○友好親善協会で外国の教育現場を入らせてもらったが、父兄と一緒に前向きに作り上げていることに感動した。</p>

委員	<p>○子育て支援センターは充実しており、市外の人も来ているくらいで素晴らしい。一方で、保育園の低年齢児の入園が厳しい。一時保育も受け入れが少ないし、パートでは優先順位が低く入りにくい。働きたい人にとっては充実していない。ファミサポも値段が高い。子どもを預かってくれる場が増えれば生活の足しになるし生産性があがると思う。</p> <p>○小学校1年生の壁、1年生になると午前中で帰ってきてしまう。保育園より早く帰ってきてしまうので学童の充実もしてほしい。</p> <p>○高校生アンケートにあったが、映画館やショッピングモールなどの学校が終わった後に行く娯楽施設がない。高校生は東浦のイオンに自転車に行く。高校生も子育て世代もそういった施設を望んでいるし、休みの日も地元でリフレッシュできるといい。</p>
----	---